

こどもたちのために わたしたちができること



WHAT WE CAN DO FOR KIDS



with里親になるためには

はぐくみホーム

- STEP 1 相談** まずはお電話で高鷲学園までお問い合わせ下さい。
- STEP 2 面接** あなたがなぜ「はぐくみホーム」になりたいのか、こどもの頃の経験や現在の状況など、様々なことを伺います。
- STEP 3 登録前研修** 「はぐくみホーム」の役割やこどもの行動、安全に養育するために何ができるかなどについて理解を深めていきます。
- STEP 4 実習** (乳児院・児童養護施設) 研修などで学んできたことを実践する機会です。施設で暮らすこどもたちと関わる中で、研修で分からなかった新たな発見もあるでしょう。
- STEP 5 家庭訪問** 担当者があなたのお宅を訪問します。研修や実習を踏まえ、「はぐくみホーム」登録に向けた更なる話し合いが行われます。
- STEP 6 大阪府社会福祉審議会** 面接、研修、実習、家庭訪問を通して集められたあなたについての情報が共有され、「はぐくみホーム」登録可能かどうかの審議が行われます。
- STEP 7 登録** おめでとうございます！これであなたも「はぐくみホーム」です。こどもの委託の話が来るのを焦らずお待ち下さい。

面接や家庭訪問、登録については大阪府富田林子ども家庭センターと共同で行います。

週末里親

- STEP 1 相談** まずはお電話で高鷲学園までお問い合わせ下さい。
- STEP 2 面接** あなたがなぜ「週末里親」になりたいのか、こどもの頃の経験や現在の状況など、様々なことを伺います。
- STEP 3 家庭訪問** 担当者があなたのお宅に訪問します。ご家庭の状況をふまえ「週末里親」登録に向けた話し合いが行われます。
- STEP 4 登録** おめでとうございます！これであなたも「週末里親」です。こどもの委託の話が来るのを焦らずお待ち下さい。

面接や家庭訪問、登録については家庭養護促進協会と共同で行います。

お問合せ先 **072-959-2202** 受付時間: 月～金 9:00～17:00 (高鷲学園 里親支援機関「with里親」)

高鷲学園with里親

羽曳野市の南恵我之荘で児童養護施設として70年間社会的養護のこどもたちを養育してきました。「すくすくそだて!」をモットーにこどもの権利やこどもたちとの話し合いを大切にしてきました。羽曳野の地で社会的養護の新しい形「施設と一緒に家庭養育を目指す」高鷲学園with里親を始めます。こどもにとっても、里親家庭にとっても安心感を持ちながら家庭養育を行えるよう支援していきます。

〒583-0885 大阪府羽曳野市南恵我之荘2-6-20

TEL 072-953-3881 FAX 072-953-3882 受付時間: 月～金 9:00～17:00
email:0000000@000000 / HP:0000000000000000



羽曳野市の
みなさんと
家庭養育を
目指します



羽曳野市ご当地キャラクター つぶたん

高鷲学園 里親支援機関「with里親」

高鷲学園は、with里親として登録された「はぐくみホーム」「週末里親」の方々に寄り添い、こどもたちの成長をサポートし続けます。

「with里親」とは
 何らかの理由により家庭で生活できなくなり、高鷲学園でくらすこどもたちを、羽曳野市内の家庭で養育して下さる「はぐくみホーム」や「週末里親」のこと。高鷲学園は、一緒に「with里親」として登録に向けたステップを進みながら、**継続してサポート**していきます。すぐに長期にこどもたちとの生活をお願いするのではなく、色々な形でこどもたちとの交流も行い、「はぐくみホーム」「週末里親」とこどもたちがお互いに知り合える機会を作ります。

「はぐくみホーム」とは
 大阪府では、事情があって家庭で生活できないこどもを一定期間育てて下さる里親家庭（養育里親）を「はぐくみホーム」と呼んでいます。
 保護者と離れてくらすこどもたちの事情や期間も様々です。だからこどもにとって必要なはぐくみホームも様々です。

「週末里親」とは
 施設で生活している保護者との面会や帰宅が少ない等のこどもを家庭生活を体験することを目的に、月に数回、または長期休み時等に家庭へ迎え入れて下さる家庭を「週末里親」と呼んでいます。

今までは、家庭で生活できなくなると

地域を離れ、
 住む場所が変わり、
 一緒に暮らす大人も変わる。

with
 里親

羽曳野市内で里親を募ることで、

地域を離れず、知っている
 大人の元で暮らし、その後も
 育ってきた高鷲学園の
 担当者が支援いたします。



こどもたち、「はぐくみホーム」「週末里親」、
 支援する側の「高鷲学園」、
 みんなが顔見知りでお互いに安心でき、
 気軽に相談できる関係を目指します。



Q.1

どんな人がなっているの？

Answer
特別な資格は必要ありません。
 家族と離れて暮らすこどもたちの気持ちに寄り添える方、ごくありふれた家庭生活をこどもたちと一緒に送って下さる方、どなたでも里親活動が可能です。登録のために研修等の受講が必要です。

Q.2

夫婦共働きでも大丈夫ですか？

Answer
 家庭事情や勤務状況にもよりますが、共働きで里親をされている方もおられます。保育所を利用することもできます。
 その場合、**保育料の減免制度があります。**
 *週末里親はお休みの時に活動していただけます。

Q.3

自分のこどもがいてもできますか？

Answer
 自分のこどもがいて里親をされている方もたくさんおられます。
一度ご相談ください。

Q.4

こどもの希望はいえますか？

Answer
 ご希望は伺いますが、受け入れ家庭のご事情や家族構成などを確認し**総合的に判断します。**

Q.5

お金持ちでないと無理ですか？

Answer
こどもの生活に必要な費用は、一部手当てが出ます。
 ●里親手当て(はぐくみホーム)→86,000円
 二人目以降は一人につき43,000円
 ●生活費や学校、幼稚園の費用→原則公費負担
 ●医療費、予防接種の費用→公費負担
 ●週末里親では謝礼金として1日1,500円
 交通費1,000円が支給されます。(上限あり)

Q.6

こどもを引き受けた後、こどもの気持ちに寄り添えるか不安です。

Answer
 養育の悩みについては高鷲学園の**里親支援専門相談員、児童指導員、保育士、心理士**などがサポートします。こどもの心を理解するには、**里親同士**で語り合うのも良いでしょう。**地域の里親会**による支援や交流活動もあります。

Q.7

退職して時間はあるけど年齢的に無理ですか？

Answer
 こどもたちはパワフルでエネルギーも高いですが、これまでの**経験を活かして家庭養育を楽しみませんか？**
 一度ご相談ください。

Q.8

長期間継続するのは難しいなあ。

Answer
レスパイト制度をご活用ください。
 養育を少し休憩したいとなれば、休息をとる(レスパイト制度)ことも可能で、こどもたちもこれまで生活していた場所なので、遊びに戻ってきやすく安心です。